



青森県弘前市 S D G s 未来都市の取組

令和 7 年度 of 取組結果と令和 8 年度の取組概要について

令和 8 年 7 月

企画部企画課 総合計画・S D G s 推進担当

「SDGs 未来都市」「自治体SDGs モデル事業」の概要【当初】

区別	項目	内容
SDGs 未来都市	選定趣旨	経済・社会・環境の三側面の統合的取組による相乗効果、新しい価値の創出を通して、 持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域が選定 されます。
	選定数	全国から 毎年30都市 程度が選定されます。 ※令和7年度末で全国215都市が認定（東北地方は全17都市）
	予算上のメリット	デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）の申請事業数上限の枠外として、1事業の追加が可能となります。
自治体SDGs モデル事業	選定趣旨	SDGs 未来都市に選定された都市のうち、多様なステークホルダーとの連携を通し、地域における自律的好循環の形成が見込める、 特に先導的な事業が選定 されます。
	選定数	SDGs 未来都市の中から10都市が選定 されます。
	予算上のメリット	以下の①・②が交付されます。 ①全体マネジメント・普及啓発等経費として1,500万円（定額） ②事業実施経費として1,000万円（補助率1/2）

Point

令和5年5月、県内で初めて「SDGs 未来都市」、北東北で初めて「自治体SDGs モデル事業」に選定

項目	概要		
1 全体計画	2030年のあるべき姿を「豊かな実りを 次へと紡ぐ 活力あるりんごのまち弘前」とし、SDGsの実現を通して、「日本一のりんご産地」が抱える経済・社会・環境の3つの側面における様々な問題の解決に取り組みます。 計画期間：令和5年8月～令和9年3月 ※令和7年度中に計画期間を1年延長済		
2 自治体 SDGs モデル事業	事業名	SDGsで未来につなぐ「日本一のりんご産地」実現プロジェクト	
	課題・目標 設定	三側面の課題	
		経済 ・DX導入や省力樹形栽培導入による生産性の向上 ・消費者ニーズを捉えたりんご販売 ・海外への販路拡大	ゴール、ターゲット  2 飢餓をゼロに 2-4 2-b  3 すべての人に健康と福祉を 3-8  8 働きがいのある経済成長を 8-a  9 産業と技術革新の基盤をつくろう 9-4
		社会 ・生産現場の省力化 ・新規就農者の発掘及び育成 ・後継者がいない園地の継承 ・生産者の健康寿命の延伸	 2 飢餓をゼロに 2-4  3 すべての人に健康と福祉を 3-8  4 質の高い教育をみんなに 4-4  9 産業と技術革新の基盤をつくろう 9-4
		環境 ・大量に発生する剪定枝の処理 ・ジュース工場から出る搾汁残渣の処理 ・環境に優しい農業への参画 ・温暖化への対応	 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 7-2  12 つくもの責任 つかう責任 12-5  13 気候変動に具体的な対策を 13-3  17 パートナリシップで目標を達成しよう 17-17

SDGsで未来につなぐ「日本一のりんご産地」実現プロジェクト

担い手が減り遊休農地が広がる今こそ、革新的なりんご生産に取り組み、農業生産性及び農業所得を向上させ、更には環境負荷の低減にも挑戦することで「日本一のりんご産地」そして「地球」の両方を持続可能なものとする。

「りんごDX」の実装・普及展開

【経済面】



- デジタル技術を活用し、高品質なりんごを安定的に生産する。
- デジタル技術を活用し、いつでも生産技術を学べる体制を構築する。

◇経済面のその他の取組
「機能性表示食品」としての販売 など

「トヨタ式カイゼン」の導入

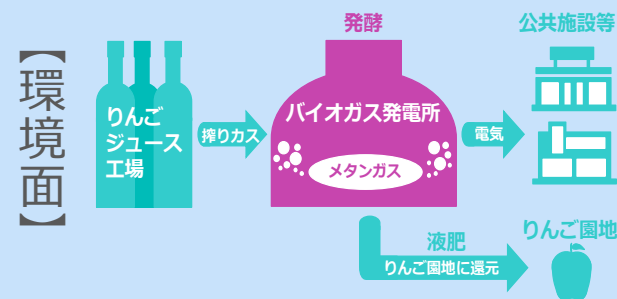
【社会面】



- 作業を省力化し、誰もが働きやすい環境を整備する。
- 作業効率を改善し、生産性を向上させる。

◇社会面のその他の取組
マッチングシステムによる園地継承 など

搾汁残渣等を活用したバイオガス発電



- バイオガス発電を活用し、搾汁残渣など未利用資源のエネルギー化、CO2排出量の削減に取り組む。
- バイオガス発電で排出される液肥を活用し、循環型農業を推進する。

◇環境面のその他の取組
「無煙炭化器」による剪定枝バイオ炭の活用など

Point

農業生産性と農業所得の向上を目指します。

次世代を担う意欲ある新たな担い手を育成します。

りんご産業を起点に脱炭素社会の構築、気候変動に対応した生産技術確立を目指します。

自治体SDGsモデル事業のスキーム図



Point

SDGsをエンジンとした果樹産地の課題解決モデルとして、全国への横展開を目指す。

自治体SDGsモデル事業の3か年のスケジュール【当初】

取組名	2023 年度								2024 年度	2025 年度
	～8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月		
AI・データを活用した「りんごDX」の実装・普及展開	適正着果アプリ地域運用の検証、VR 剪定学習プログラムの地域展開								検証・改善	実装
「トヨタ式カイゼン」指導により女性にも選ばれる職業を目指す働き方改革の推進	事業者と契約	集出荷現場への改善指導、JA 青年部や指導員等への農業塾							改善指導を農業者にも拡大、事例発表会の開催	継続実施、自立化
「無煙炭化器」導入による剪定枝バイオ炭の農地投入実証研究	無煙炭化器の導入(りんご公園、JA) 剪定枝炭化実演会								モデル園地の土壌分析 無煙炭化器地域展開の検証	無煙炭化器の更なる地域展開
ジュース工場から出る搾汁残渣等を活用したバイオガス発電	事業者と契約	PR イベント展示 搾汁残渣の賦存量調査、発酵試験及び液肥試験							地球温暖化防止行動計画策定	公共施設等へのプラント設置 バイオ液肥利用の実証研究

Point

上記の取組を中心に、**経済・社会・環境の3側面から様々な取組を推進します。**

令和7年度の主な取組結果【経済面】

※国の補助金を活用した自治体SDGsモデル事業は令和5年度で終了。令和7年度もSDGs未来都市の取組として継続。

経済面の取組結果（一例）



実施内容と結果

- デジタル技術を活用し、高品質なりんごを安定的に生産
- デジタル技術を活用し、いつでも生産技術を学べる体制を構築



先端技術の導入による農業生産性の向上と、販路拡大による農業所得の向上を目指す。

- ・VR剪定学習支援システムは、学習体系の構築に向けて、VR剪定学習講習会を実施。
(講習会3回)
- ・適正着果量を判断するAIシステムは、精度向上に向けた画像データの拡充等を実施。



三側面の指標 令和7年度実績【経済面】

経済面の取組

統合的取組



「りんごDX」の実装・普及展開

「省力樹形栽培」の普及促進



「機能性表示食品」としてのブランド展開



海外への販路拡大の強化

数値目標の達成状況

経済

高品質りんごを安定生産し、販売額を増やします。

行政、生産者、研究機関
等との連携事業数(累計)
機能性表示食品制度りん
ご生果届出数(累計)

15件 → 21件 → **22件** → 20件

2件 → 5件 → **5件** → 5件

(R5.2) (R6年度) (**R7年度実績**) (R8目標値)

三側面をつなぐ相乗効果

社会

作業改善等に意欲的な生産者を増やします。

農業塾に参加し作業改
善に取り組む生産者数
(累計)

0人 → 122人 → **122人** → 122人

(R5.2) (R6年度) (**R7年度実績**) (R8目標値)

環境

農薬や肥料の使用を低減します。

青森県特別栽培
農産物認証生産者数

22者 → 19者 → **17者** → 25者

(R5.2) (R6年度) (**R7年度実績**) (R8目標値)

Point

先端技術の導入による**農業生産性の向上**と、販路拡大による**農業所得の向上**を目指します。

令和7年度の主な取組結果【社会面】

※国の補助金を活用した自治体SDGsモデル事業は令和5年度で終了。令和7年度もSDGs未来都市の取組として継続。

社会面の取組結果（一例）

統合的取組

トヨタ式カイゼン

ジャストインタイム
必要なものを必要なときに
必要なだけ造る・運ぶ

自動化
品質は工程で通りこわ

ムダの徹底排除

品質向上、生産性向上など
原価低減

「トヨタ式カイゼン」の導入

マッチングシステムによる国地継承

階層別のりんご生産者の育成

りんご生産者の健康増進

実施内容と結果

- 作業を省力化し、誰もが働きやすい環境を整備する。
- 作業効率を改善し、生産性を向上させる。



次世代を担う意欲ある新たな担い手が地域で持続的に育成される体制を構築する。

- ・令和6年度までに実施した取組について、各自継続。



社会面の取組

統合的取組

トヨタ式カイゼン

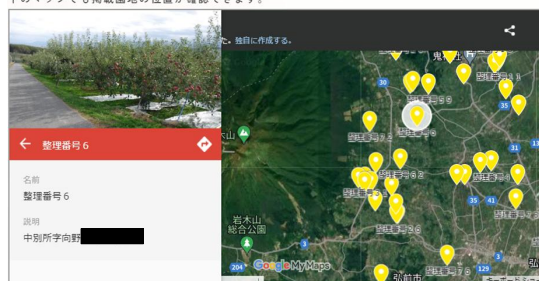
ジャストインタイム
必要なものを必要なときに
必要なだけ造る・運ぶ自動化
品質は工程で造りこむ

ムタの徹底排除

品質向上、生産性向上など
原価低減

「トヨタ式カイゼン」の導入

下のマップでも掲載園地の位置が確認できます。



マッチングシステムによる園地継承

階層別のりんご人材育成



りんご生産者の健康増進

数値目標の達成状況

社会

省力化や生産性を向上し、担い手を増やします。

農業塾に参加し作業改善
に取り組む生産者数(累計)
園地継承円滑化システム
のマッチング成立件数
(累計)0人 → 122人 → **122人** → 122人
26件 → 156件 → **174件** → 200件
(R5.2) (R6年度) (**R7年度実績**) (R8目標値)

三側面をつなぐ相乗効果

経済

現場改善により生産コストを削減し、収益性を
向上させます。認定農業者のうち5年前
より農業所得が向上した
認定農業者の割合59.3% → 60.6% → **81.6%** → 65.0%
(R5.2) (R6年度) (**R7年度実績**) (R8目標値)

環境

環境に優しい農業に取り組む農家を増やします。

青森県特別栽培
農産物認証生産者数22者 → 19者 → **17者** → 25者
(R5.2) (R6年度) (**R7年度実績**) (R8目標値)

Point

次世代を担う意欲ある新たな担い手が地域で持続的に育成される体制を構築します。

令和7年度の主な取組結果【環境面】

※国の補助金を活用した自治体SDGsモデル事業は令和5年度で終了。令和7年度もSDGs未来都市の取組として継続。

環境面の取組結果（一例）



実施内容と結果

- 搾汁残渣など未利用資源のエネルギー化、CO2排出の削減に取り組む。
- バイオガス発電で排出される液肥を活用し、循環型農業を推進する。

↓
りんご産業を起点とした脱炭素社会の構築と、気候変動に対応した生産技術の確立を目指す。

- ・令和5年度に、りんご搾汁残渣等のエネルギー化について調査する「搾汁残渣等エネルギー化システム構築事業」を実施。給食残渣等の食品残渣と混合することで成分がメタン発酵に適した比率となり、原料として活用できる可能性がある一方、採算性や残渣の安定確保など、事業化に向けた課題が多く残されていることが判明。
- ・令和7年度は、環境省の重点対策加速化事業に採択されている山形県長井市での取組事例の調査を実施した。今後も引き続き、先行事例の調査・研究を続けていく。

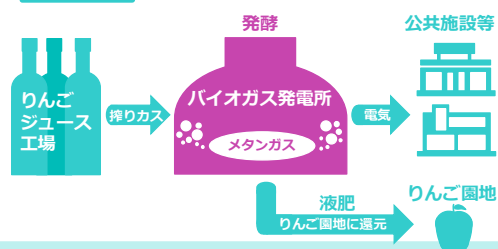
環境面の取組

統合的取組



「無煙炭化器」の導入

統合的取組



搾り残査等を活用したバイオガス発電

着色不良・着色遅延

温暖化に対応した生産技術の研究
(資料：農林水産省「地球温暖化影響調査レポート」)

剪定枝を原料とした商品開発

数値目標の達成状況

バイオガス発電等の導入を進め 環境負荷を低減します。

環境

無煙炭化器の活用数(累計) 0件 → 34件 → **64件** → 56件バイオガス発電導入に向けた地公体実行計画(区域
施策編)の策定 0件 → 0件(未策定) → **0件** → 1件
(R5.2) (R6年度) (**R7年度実績**) (R8目標値)

三側面をつなぐ相乗効果

官民連携で環境負荷の低減を進めます。

経済

行政、生産者、研究機
関等との連携事業数
(累計)15件 → 21件 → **22件** → 20件(R5.2) (R6年度) (**R7年度実績**) (R8目標値)

作業改善に取り組む生産者を増やします。

社会

農業塾に参加し作業改
善に取り組む生産者数
(累計)0人 → 122人 → **122人** → 122人(R5.2) (R6年度) (**R7年度実績**) (R8目標値)

Point

りんご産業を起点とした脱炭素社会の構築と気候変動に対応した生産技術の確立を目指します。

令和7年度の主な取組結果【SDGs普及啓発に向けた情報発信など】

対象	主な取組の内容	担当
市民、 民間事業者等	・小・中学生へのSDGs普及啓発のため、公募により決定した市内10小・中学校等でりんご娘等による特別授業「SDGs未来へプログラム」を実施。 【R5～累計 参加：22校 延べ3,113名】 ・市民へのSDGs普及啓発のため、未来へプログラムの成果発表及び民間事業者の取組発表を行う「りんごのまち弘前SDGs発表会」を開催。 【来場者数 約250名超】	企画課
	・SDGsの理解を深めるとともに、次期総合計画策定に向けた事業提案を行う高校生・大学生ワークショップを実施。【参加者33名 提案事業数8】	企画課
	・りんご産業に関連したSDGsに取り組む市内事業者3者及び（公社）弘前観光コンベンション協会と連携し造成した「弘前市SDGs教育旅行プログラム」について、「市内中学生向けSDGs体験学習プログラム」として市内中学校に展開。【実施校 市内3中学校 合計143名】	企画課
	・民間事業者との協働により、市庁舎エレベーター内にりんご搾汁残渣を原料とする合成皮革を使用した手すりカバーを設置し、SDGsの取組を市民等にPR。	企画課
職員	・SDGsの視点を取り入れた総合計画の内部評価を実施	全部署
	・総合計画担当者への研修を実施。総合計画担当者は研修を受講し、SDGsの考え方を総合計画の各施策に積極的に反映。	企画課 (人事課)



SDGs 未来へプログラム



りんごのまち弘前SDGs発表会



高校生・大学生ワークショップ



市内中学生向けSDGs体験学習プログラム



市庁舎エレベーター用手すりカバー

令和8年度の主な取組【新規（一部継続）事業】

ゼロカーボンシティ推進事業（環境課）

☞ 2050年カーボンニュートラルの達成に向けて、家庭における再生可能エネルギーの利用促進を図るため、**市民向けに太陽光発電設備等導入支援事業**を実施するほか、**既存住宅の省エネにつながる断熱改修支援事業**を実施。

また、令和7年度に設立したゼロカーボンシティひろさき推進協議会を通して、事業者、各種団体と連携し様々な角度から意見を出し合い取組を充実させていきます。

ゼロカーボンシティひろさき推進協議会設立総会の様子



■ 太陽光発電設備等導入費補助金 ■ 既存住宅断熱改修事業費補助金 ■ ゼロカーボンシティひろさき推進協議会

・新築・既設を問わず、住宅に太陽光発電設備等を設置する市民に対し、市が費用の一部を補助し、家庭における再生可能エネルギーの利用を促進。

・既存住宅の断熱改修を実施した市民に対し、市が事業費の一部を補助し、既存住宅の断熱化による省エネを促進。

・意見交換を通じて、地域の事業者や各団体と連携し、目標の達成に向けた地域脱炭素の取組を充実し、拡充させていく。

Point

令和5年度からの継続事業に加え、**脱炭素社会の実現に資する取組など新たな事業も展開します。**

対象	主な取組の内容	担当
市民、 民間事業者等	・小・中学生へのSDGs普及啓発のため、公募により決定した市内10小・中学校等でりんご娘等による特別授業「SDGs未来へプログラム」を実施。 ・市民へのSDGs普及啓発のため、未来へプログラムの成果発表及び民間事業者の取組発表を行う「りんごのまち弘前SDGs発表会」を開催。	企画課
	・日本一のりんご産地ならではのアップサイクルの取組を行う各企業・団体への取材を行い、取組事例を市民等へ発信・PR。	企画課
職員	・SDGsの視点を取り入れた総合計画の評価作業を実施します。	全部署
	・新任課長補佐級職員を対象に、SDGsの施策反映について学ぶ研修を実施し、SDGsの考え方を総合計画の各施策に積極的に反映します。	企画課 (人事課)

Point 企画部・農林部・市民生活部だけでなく、**全庁でSDGsを推進**します。

（参考）SDGsの認知度について【弘前市民意識アンケート結果】

今年度に実施した「弘前市民意識アンケート」では、「SDGsという言葉を知ってる」市民の割合が82.5%と、令和5年度の76.8%から5.7ポイント上昇し、8割を超える市民に認知されていることがわかりました。※無回答者を除く

令和8年度 弘前市市民意識アンケート集計結果報告書（速報）より

上段：回答数 下段：回答比率	年度	言葉も内容も 知っており、 実際に取り組 んでいる	言葉も内容も 知っている が、実際に取 り組んではい ない	言葉は知って いるが、内容 はよく知らな い	まったく知ら ない	合計
「SDGs」という言葉を 知っていますか	R8	555人	652人	458人	352人	2,017人
		27.5%	32.3%	22.7%	17.5%	100%
	R7	411人	561人	438人	304人	1,714人
		24.0%	32.7%	25.6%	17.7%	100%
	R6	439人	600人	495人	312人	1,846人
		23.8%	32.5%	26.8%	16.9%	100%
	R5	232人	670人	518人	428人	1,848人
		12.6%	36.2%	28.0%	23.2%	100%

「SDGsという言葉を知っている」は82.5%（R8年度）

「SDGsという言葉を知っている」は76.8%（R5年度）

SDGs未来都市 ひろさき



りんごのポストと岩木山（弘前市りんご公園）

弘前市は、2023(令和5)年に「SDGs未来都市」に選定され、「日本一のりんご産地」を次の世代に託すため、SDGsの視点から様々な取組に挑戦しています。



満開のりんごの花



「りんご新幹線」の乗客を待つ弘前駅近辺の風景



さまざまな色・品種があるりんご

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

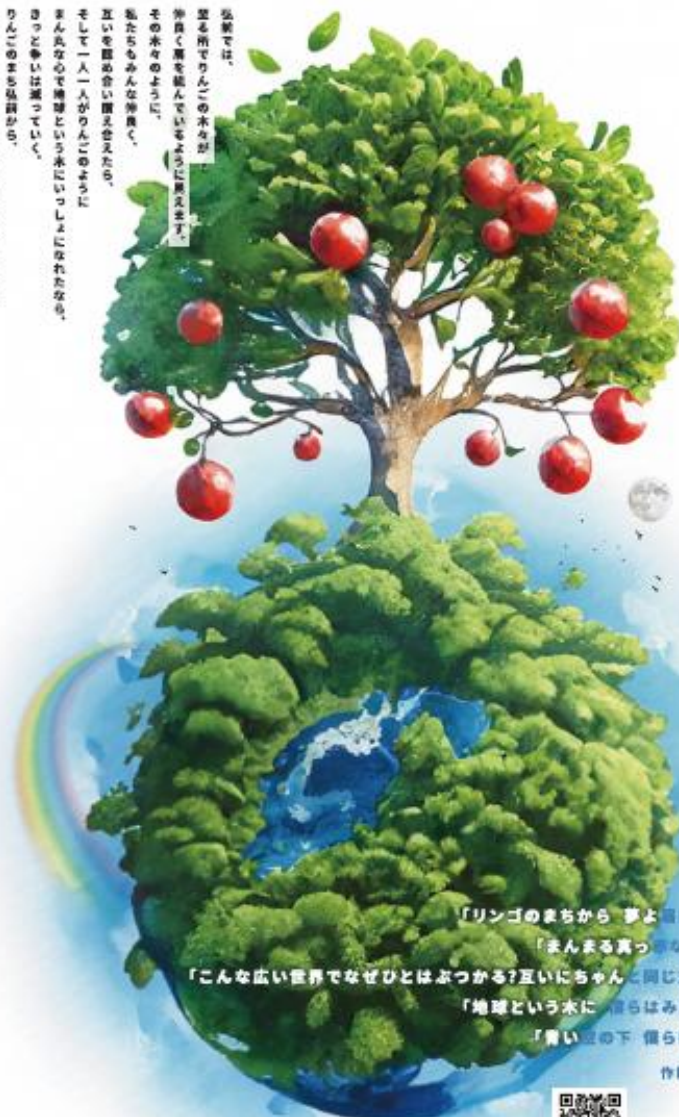


弘前市の取り組み
詳細はこちら



りんごのまち弘前SDGs応援ソング りんごのうた

弘前では、
星る所でもりんごの木々が
咲き誇る春をみているように思えます。
その水々のように、
私たちがみんな仲良く、
互いを認め合い思いを伝えたい。
そして一人一人がりんごのように
まん丸な心で地球という水にいつしよになれたなら、
きっと争いは減っていく。
りんごのまち弘前から、
そらいった星を輝かせたいと考え、作詞しました。



「りんごのまちから 夢を届け(星を照らせて)」
「まんまる真っ赤な りんごのうた」
「こんな広い世界でなぜひととぶつかる?互いにちゃんと同じ方に向けたなら」
「地球という水に ぼらはみんななっている」
「青い空の下 ぼらは繋がっている」

作詞・作曲：多田 慎也



「りんごのうた」はこちらからお聴きいただけます。

